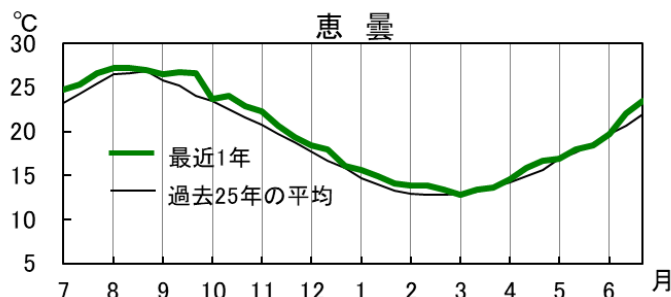
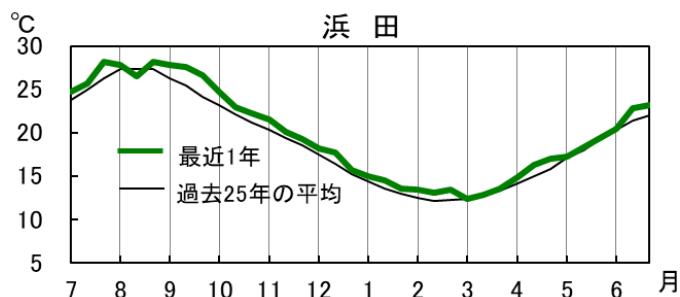




《6月の海況》



6月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	22.6℃	+1.2	平年並み	21.8℃	+1.0
中旬	かなり高め			かなり高め		
下旬	かなり高め			かなり高め		



《6月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類が平年の2.4倍、マアジは平年の9割でした。隠岐地区ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は72.0トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は8,290トンで平年の7.6倍でした。一方、ウルメイワシは1,633トンで平年の6割、マアジは746トンで平年の8割、マイワシは147トンで平年の1割未満でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はケンサキイカ、スルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は97.9kgで平年の約7割となりました。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はスルメイカが主体で、1隻1航海当りの漁獲量は97.2kgと、平年の5割ほどの水揚げでした。

【ばいかご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に、総漁獲量は37.3トンと平年の1.1倍、1統1航海当たりの漁獲量は1.4トンで平年並みでした。エッチュウバイの漁獲量は34.9トンで平年の1.1倍、銘柄別では「中」「中大」および「大」の3銘柄で全銘柄の約9割近くを占め、特に「中大」は10.8トンで平年の1.3倍、「大」は15.5トンで平年の1.4倍でした。

【しいら漬け漁業】

6月から始まった石見地区のしいら漬け漁業はシイラ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は0.6トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、シイラは6.7トンで平年の3割となり、ヒラマサは2.9トンで平年の2割でした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、ブリ、マイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は39.5トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の11倍、ブリは平年の1.8倍、マイワシは平年の12倍でした。石見地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は17.3トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類が平年の12倍、マアジが平年の5割でした。隠岐地区ではサバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は52.7トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年12倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、イサキ、キダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は16.2kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の0.5倍でした。石見地区ではケンサキイカ、イサキ、アマダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は15.7kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の0.5倍でした。隠岐地区では、スルメイカ、カサゴ・メバル類、マダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.2kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の1.1倍でした。

【令和6年6月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	サバ類	10,948トン	116%	142%	72.0トン	86%	125%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ、スルメイカ	6.8トン	121%	81%	97.9kg	119%	72%
	西郷	スルメイカ	13.1トン	70%	36%	97.2kg	88%	54%
ばいかご	石見	エッチュウバイ	37.3トン	104%	114%	1.4トン	118%	108%
しいら漬け	石見	シイラ、ヒラマサ	9.6トン	130%	24%	642kg	87%	49%
定置網 (大型)	出雲	サバ類、ブリ、マイワシ	514トン	153%	121%	39.5トン	153%	121%
	石見	サバ類、マアジ	69.2トン	104%	82%	17.3トン	104%	82%
	隠岐	サバ類	158トン	188%	195%	52.7トン	188%	195%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、イサキ、キダイ	30.4トン	98%	85%	16.2 kg	93%	83%
	石見	ケンサキイカ、イサキ、アマダイ	33.3トン	91%	80%	15.7 kg	103%	90%
	隠岐	スルメイカ、カサゴ・メバル類、マダイ	22.8トン	98%	73%	21.2 kg	120%	82%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ